

各 位

2018年5月9日

SBI Ripple Asia 株式会社

韓国 Coinone Transfer 社での xCurrent 採用について

アジア地域で分散台帳技術（DLT）を活用した次世代決済基盤を展開する SBI Ripple Asia 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：沖田 貴史、以下「SBI Ripple Asia」）は、韓国においてブロックチェーンを活用した国際送金サービスを展開する Coinone Transfer Inc.（本店：韓国ソウル市、代表 シン・ウォンヒ、以下「Coinone Transfer」）と xCurrent（*1）ライセンス契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

Coinone Transfer 社は、韓国有数の仮想通貨取引所である「Coinone 取引所」をはじめとし、ブロックチェーンを活用した各種金融ソリューションを提供する Coinone 社の子会社であり、少額海外送金サービス「Cross」の正式サービス開始を6月に予定しております。同社の国際送金システムに、次世代決済基盤である xCurrent を統合することで、中央集権型ネットワークを介さないリアルタイム送金が可能となり、ユーザーの利便性向上を図るとともに、健全なブロックチェーン生態系の構築を目指す予定です。なお、Coinone 社は SBI インベストメントが運営する「FinTech ファンド」の投資先である DAYLI Financial Group Inc.傘下の企業となります。

Coinone Transfer のシン・ウォンヒ代表は「今回の xCurrent ソリューションの導入は、ブロックチェーン技術が、私たちの日々の生活をどのように革新させることができるのかを確認することのできる機会だ」とし、「Coinone Transfer はこれからもブロックチェーンおよび暗号通貨を通じた価値の自由な接続とその可能性を実現するために最善を尽くす予定だ」とコメントしている。

SBI Ripple Asia は、日本において、分散台帳技術（DLT）を活用する各種金融コンソーシアムの事務局を務めるとともに、韓国市場においても、主要銀行との国際送金実験などを行って参りましたが、今回の Coinone 社の採用を契機に、日本のみならず、アジア地域でもブロックチェーンの商用利用及びエンタープライズ用途でのブロックチェーン・エコシステムの構築に取り組んでまいります。

*1「xCurrent」は、Ripple 社が提供する金融機関向けソフトウェアであり、分散台帳技術（DLT）を活用することで、中央ネットワークを介することなく、金融機関間の双方向通信・リアルタイム送金を可能とします。

以上

お問い合わせ先： SBI Ripple Asia 株式会社 広報担当 03-6229-0710